



議会だより

2013.2
vol.37

ふじかわぐちこ



おん べい わた

御幣渡し 小立乳ヶ崎道祖神祭



富士河口湖町は富士山世界文化遺産登録を推進しています

- こういうことをきめました 2P
- 委員会レポート 4P
- 代表質問 10P
- 一般質問 14P
- 窓・編集後記 16P

こういうことを
決めました!



成人式

平成24年 第4回定例会

●同意案件(4件)

▼富士河口湖町副町長選任の同意

- 古屋 征人(小立) 同意全員

▼富士河口湖町教育委員会委員任命の同意

- 梶原 正孝(大石) 同意全員
- 倉澤 和代(勝山) 同意全員

▼富士河口湖町監査委員選任の同意

- 小佐野 勝(勝山) 同意全員

▼富士河口湖町固定資産評価審査委員会委員選任の同意

- 渡邊陽太郎(小立) 同意全員
- 小林 史亨(勝山) 同意全員
- 渡辺 秀樹(西湖西) 同意全員

- ・教育委員に任命されました梶原正孝委員は、その後の教育委員会において、教育長に互選され就任いたしました。

一般会計補正予算額8,560万円を増額

補正予算が可決され、一般会計は総額112億2,634万2千円となった。

補正予算歳出の主なもの

- 後期高齢者医療広域連合負担金 3,000万円
- 介護給付・訓練等給付費 2,743万円
- 畑地帯総合整備事業負担金 1,385万円
- 勝山ふれあいセンター用地購入費1,000万円

12月定例町議会は、11日に開会し、町執行部から提出された29の案件について、常任委員会へ付託された議案も含めすべてが、原案のとおり可決、承認されました。

この定例会では、平成24年4月から不在となっていた副町長選任の同意案件も提出され、全員の同意を得て副町長が決まりました。

また、景観条例の全部が改正されたほか、簡易水道給水条例、地下水保全条例、給水条例の一部改正が可決され、簡易水道の加入金の統一や上水道使用料金の改定が行われることになりました。

水道料金・景観条例の改正

景観条例の全部を改正する 条例の要点

（平成25年4月1日より施行）

町民の皆さんが「景観まちづくり」に取り組むにあたり、「景観形成活動団体」として認定する制度が創設され、町の支援を受けながら活動を進められるようになりました。

自然公園法の普通地域内において、一定規模以上の建築等の行為を行う場合、届出が必要になるほか、地域の景観に調和しない建築物や構造物の新築・改築の際に形態と色彩に制限を受けることになります。

地下水保全条例の一部を改正 する条例の要点

（平成25年4月1日より施行）

公共の既設井戸に影響を及ぼすおそれのある井戸掘削を制限すると共に、清涼飲料水の製造を目的とした地下水の使用を許可しないようにするため、地下水を井戸のある場所で利用し、利用後の不用品となった地下水についても、井戸のある場所で適正に処理することとしました。

給水条例の一部を改正する 条例の要点

（平成25年4月1日より施行）

水道施設の耐震化と水道事業の健全な運営を維持するため、表のように水道料が改定されました。（表1・2参照）

簡易水道給水条例の一部を改正 する条例の要点

（平成25年4月1日より施行）

合併当初からそれぞれの簡易水道及び上水道で、新規水道加入者の負担金が異なっていました。が、今度の条例改正で、表のように統一されました。（表3参照）

表1

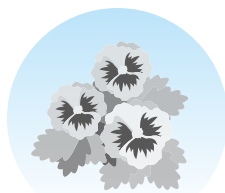
基本料金（装置料を含む）								
メーター口径区分（ミリメートル）								
2箇月	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm
20㎡ まで	850 円	1,230 円	1,600 円	2,100 円	3,320 円	5,170 円	11,260 円	19,750 円

表3

メーターの口径	加入金の額
13mm	80,000円
20mm	120,000円
25mm	170,000円
30mm	230,000円
40mm	280,000円
50mm	470,000円
70mm	750,000円
100mm	町長が定める額

表2

超過料金（1㎡当）			
使用水量（2箇月当り）			
21～100㎡	101～200㎡	201～1000㎡	1001㎡～
35円	42円	49円	53円



特別会計補正予算

- 船津財産区特別会計補正予算（第3号）
 - ・ 湖南中用地未登記分の登記料等…32万円
- 小立財産区特別会計補正予算（第4号）
 - ・ 公有財産（土地）購入費……1,160万円

一般会計補正予算（第7号）

- ・ 小立財産区特別会計繰出金……1,160万円
- ・ 花トピア推進事業費……340万円
- ・ 有害鳥獣駆除報償費……457万円
- ・ 土木関係事業費……190万円

第4回臨時会

平成24年11月24日に召集された第4回臨時会では、専決処分報告及び承認1件、条例の一部改正2件、特別会計補正予算2件と一般会計の補正予算が執行部から提出され、慎重審議の結果いずれも賛成全員で、承認・議決されました。

補正予算については、次のとおりです。

委員会 レポート

常任委員会の活動状況を報告します。

防災士資格取得促進の 補助金の内容は

質問 予算にある12万円は、1人6万円の補助で2人分ということだが、資格取得には総額でどのぐらいかかるのか。

総務課長 研修の受講料、試験料、認証料があり、3つを合わせると6万1000円である。それとは別に講習と試験が東京で行われるので、交通費、宿泊費、食事代等も含めると、大体10万円弱程かかると思われるので、その一部として補助していきたい。

再質問 2人分の補正を組んでいるが、今後の対応は。

総務課長 今年度取得された方であれば遡及させていきたい。既に取得されている方については予定している。もう1名を考えているが、具体的にはまだ決まっていない。

合併特例債の残額と 今後の活用は

質問 合併特例債が期限延長になったと聞くと、起債が可能な額は幾ら残っているのか。また、今後の活用方法は。

政策財政課長 事業が可能な起債額は122億1200万円、基金の可能起債額25億2000万円、これが全体である。23年度末で両方で84億2845万円使っているの、残りは60億円余りということになる。今後の合併特例債活用の基本的な考え方は、地域住民が真に何を求めているのか、何を必要としているのかを慎重に見きわめ、地域審議会、地域振興協議会の意見集約を十分図り、限られた財源を有効活用していきたい。



西浜体育館 東面着工前(上)・東面完成(上)

西浜中学校体育館
合併特例事業債 8,930万円



合併特例債により建設中の湖南中学校校舎



「富士山を世界文化遺産に」ステッカー

富士山世界文化遺産登録と開発行為の整合性は

質問 富士山世界文化遺産登録と、町の企業誘致に伴う開発行為とのすり合わせはうまくいっているのか。

政策財政課長 開発行為と世界遺産の登録との関係ということだが、とりあえずは景観計画を策定し、その条例の中で運用をしてどのような弊害が起きるか検証した上で、開発そ

の他、不都合、デメリットがある場合は検討を加えて変えていかなければならない。

再質問 世界遺産に登録された場合は、あとの保全管理に多大な費用がかかる。国、県とその費用の割合についての話はなされているか。

町長 その辺の詰めはまだされていない。

まちづくり管理監を

再設置する考えはあるか

質問 県から派遣されたまちづくり管理監が23年度まで在籍していたが24年度からなくなった。県とのパイプ役のために、まちづくり管理監はあったほうがよいと思うが、平成25年度からはまた県に要請をしていく考えはあるか。

町長 24年度で管理監をお願いしなかったが、私を含め職員一丸となり、県との連携をしっかりしていこうと考えていた。職員間で意見調整をしつかりする中で、今後の方針を取り決めた。

再生エネルギーの活用は

質問 再生可能エネルギーの活用として、いろいろな公共施設をメガソーラー利用のために業者に賃貸して、収入を得る考え方はあるか。

総務課長 現在町に申し込みは来ていないが、今後申込みが来た場合、省エネ対策の面でも一考に値すると思うが、公共施設のため景観を保護する必要がある。今後十分内部で調整し、外部の意見を聞きながら行いたい。現時点ではまだ方針は出ていない。



太陽電池アレイ

人間ドック受診

質問 40歳から65歳への対応の進捗状況は。
住民課長 5歳刻みの年齢を取り払い、すべての方の年齢を対象に人間ドックを実施する予定。

婚活イベントの回数を増やすか

町長 5月の下旬イベント実施を予定している。回数については総合的に判断する。
関連質問 婚活イベントを世界文化遺産登録後に実施する考えは。

町長 提言を受け止め検討していきたい。

地域支え合い事業の来年度の実施は

健康増進課長 広く健康のまちづくりを進める人材育成講座を考えている。

小立林地区の

「やーと祭り」の継続を願う

町長 地元の皆様の力をおかりしながら、実現に向けて努力していく。



小立林地区のやーと祭り

介護保険料の抑制施策は

健康増進課長 65歳以上の元気な町民が増える施策が一番であり、介護予防を受けない、介護にならない町民を増やすための具体的な施策を計画策定中である。

特別養護老人施設への待機入居希望者は

健康増進課長 平成24年4月1日の調査で、在宅で施設の特養待ちの方が85名であるが、特養施設を早急に増やしていく考えは今計画の中にはない。

太陽光発電設置補助金の増額を

環境課長 キロあたり3万円の補助をしており、県下5番目の補助率であるので、現状維持の判断である。

介護慰労金の支給状況は

福祉推進課長 年12万円に増額され、1回目の支給が9月で23名であり、3月に後期の支給をする。昨年度と比べ9月時点で増えている。

チャレンジ富士登山

質問 10月16日に行われた反省会の内容は、学校教育課長

- ・小学生も保護者同伴でなくともだいじょうぶ。
- ・子ども30名、スタッフ10名、総勢40名での実施は。
- ・40名であれば、登山指導者が2人必要である。

以上の意見が出た。

教育センターの

設置環境は

教育長 JAの葬儀場が併設されておるので、教育センターとしてふさわしい場所か併せて設置場所についても検討している。

教育センター長 現状の施設を超える施設であれば、移転を含めて検討をしていただきたい。

電気自動車の急速充電器設置によるCO₂削減の効果は

環境課長 今現在、67・5トンのCO₂を削減することができた。

電気自動車購入補助の考えは

環境課長 補助金要綱を、各市町村の状況を見ながら検討をしていきたい。

住民課所管の収入未済額への取り組みは

住民課長 対前年の同月比、金額で400万円、収納率で1%昨年を上回っている状況であり、取組みとして、まずは現年度分をしっかり徴収し、同時に過年度分の特に大きい方から順次収納できるように努める。

町長 収納体制について全庁挙げて体制がとれるような仕組みを検討していく。

河口地区で発見された平安時代の道は

生涯学習課長 試掘調査は終わり、貴重な埋蔵文化財が発掘された状況なので、来年度から本格的な調査をする予定。



河口地区で発掘された
鯉ノ水遺跡土器

工事を予算化するには、 きちんと状況を判断して

質問 インター線新設改良工事請負費が3500万円も減額になったが最初の見積りの段階や予算化される時にはわからなかったのか。

都市整備課長 当初の予定は地盤が非常に悪いことを想定していたが、十分対応できるところがなかった。補助金申請は最悪のシナリオを考えて申請した。

富士ヶ嶺の実験農場 の活用は

農林課長 農業振興のための実験場として活用するようになっていたが、今年度内では動きはない。土壌改良という問題が残っており、隣の沈砂池を掘削して土壌を確保、そこを敷きならした上で耕作地を広げ、この事業に移っていきたい。

通学路の雨水対策を

質問 川の中を小学生が通学しているような状況だが既存道路の維持補修、通学道路の雨水対策は。

都市整備課長 国の補助事業の対象として25年に調査、26年に優先順位をつけ補助事業として順次工事を進めていきたい。



富士ヶ嶺地区の実験農場

上水道の有水率向上は

質問 上水道の老朽管更新や料金改定が水道ビジョンをもとに議論されているが、有水率を向上させる漏水調査は。

水道課長 夜間、音を聞きながら漏水の箇所を発見する漏水調査を船津、小立、勝山それぞれ毎年10キロずつ委託して調査している状況である。

駅周辺の歩道整備は

都市整備課長 駅の再開発に伴って一部歩道を設置した。それ以外の部分は、用地交渉等も実施したが、予算面等の問題があり現状にとどまっている。

北八津団地の 改修工事費の増額を

質問 老朽化した町営住宅の北八津団地は改修が必要ところが放置されている。改修について考えを伺う。

町長 優先順位をつけ予算編成の中で検討をする

新鮮で安いと評判の 直売所に補助を

質問 個人的にやっている農産物直売所に支援か補助は。

農林課長 町の財政も考えなければならず個人の直売所について現在支援する手段はない。

天上山の拠点となる 広場の活用は

質問 大久保にぎわい広場の管理運営は。

都市整備課長 地区の方々の協議の中で進めており具体的には富根都クラブなどの地区の方に管理していただくよう考えている。

質問 アジサイが咲く頃にイベントの実施を出来るように。

町長 せっかくある資産ですから当然考えていかなければならない。

皆さんに訪れていただき、喜んでいただき、癒していただくという活用の仕方を研究していく。

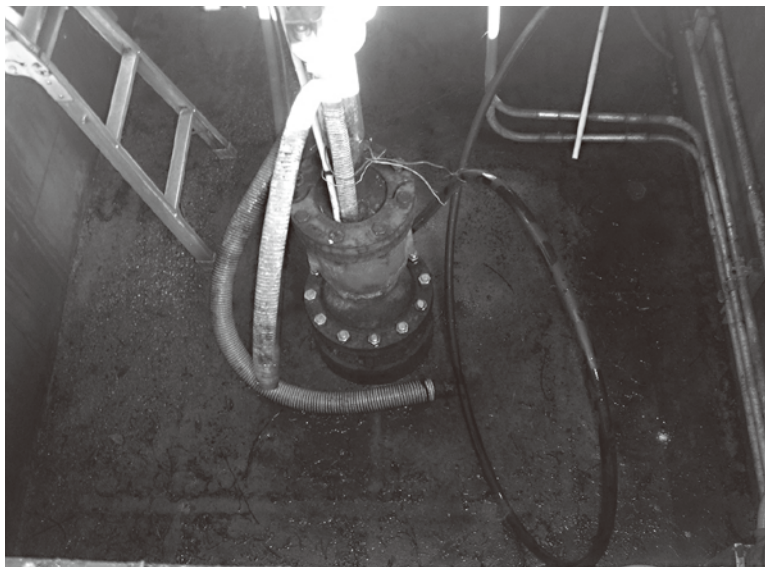
質問 大久保にぎわい広場の有効利用の考えは。

都市整備課長 駐車場を兼ねた中のイベント広場という形で造っているので、地域の方々の協力のもとに何か考えていきます。

温泉地として、今後の 発展に影響も？

質問 日本の温泉地で富士河口湖町は2番目の集客力があると評価されている。第1源泉が昨年の11月に湯量が減少し電気、ポンプ等が停止したと言っ話を聞いたが早急に対策を。

水道課長 年度内にポンプの引き揚げをし、早急な対策を講じる必要があるという検討結果が出たので、1月の早い時期に議会等に諮りポンプの引き揚げ及びその対策を講じる。



第1源泉

質問 第1源泉をつなぎとめておくのか、ほかの源泉を掘るのか対応を町長に問う。

町長 この第1源泉をとめるに当たって、大変心配したが、目下第2、第3号源泉で何とか賄えるということである。第1号源泉をも一度調査して、その結果、方向を出したいと考えている。

指定管理の考えは

質問 町の直営施設がいくつかあるが今後の運営について、指定管理者を含めた中での考えを問う。

観光課長 勝山道の駅は、来年度調査検討をして26年度から指定管理を予定している。西湖地区のいやしの里、こうもり穴、野鳥の森は一体的に指定管理という方向で進めるかどうか検討していく。地区住民の協議等もあるので、近いうちにある程度方向性を出していきたい。

通学路に猿が

質問 猿が中学校の近くに出たという話があったがその対応は。

農林課長 町では特に巡視員などを設けていない。常に住民から電話をいただいた中で許可を持っている猟友会に現地へ赴いていただいている。

知りたい!

聞きたい!



清陽クラブ

代表・関連質問

将来が期待でき安心して 安全に住める町民目線の 予算編成は

質問 町長として25年度予算編成をどのように考えているのか伺う。

町長 すべての事務事業を見直し行政改革を推進し歳出の削減に一層努める。住民の負担を増やさず行政サービスの質を高め、自主財源の確保と受益者負担の適正化について取り組むなど、さらなる対応が必要だと考える。

再質問 福祉、教育、環境に加え観光施策がわが町では大変重要であるが、これらの予算配分を重点的に力を入れる考えがあるか。

町長 観光の諸施策は従来以上に取り組む。具体的には富士山世界文化遺産登録と合致した中で当町の観光、富士河口湖町がブランド化できる形で当町のレベルアップを図る。

関連質問 (渡辺喜久男) 総選挙の結果によつては予算編成が変わってくるが予算編成担当課長に認識を伺う。

政策財政課長 国の施策の動向を十分見きわめながら、町への具体的な影響を的確に把握した上で、国庫補助金制度や有利な起債制度などを有効活用かつ適切に活用すること、さらに特定財源の確保に努めたい。

関連質問 (駒谷隆利) 町の公共施設、橋、

道路、側溝等は相当老朽化している箇所が数多いがメンテナンスの対策を講じるための予算化をどう考えるのか。

町長 県には御坂トンネルなどの安全点検を早急に実施するよう要請をする一方、町では都市整備課を中心に橋や上水道関係の老朽化に対する対策を進めている。

予測される富士山噴火や 東海地震の対策は

質問 住民がいち早く避難する道路整備が急務だが交通網の整備の不備に対する対策は。

総務課長 道路網の配置はある程度確保されているが、幅員が狭く曲がりくねっているなど速やかに避難するためには不便さが残り、道路予算の中で徐々に改善を図る。今後も順次不良箇所の改善を進め、避難路周りの耐震化されていない建物やブロック塀がある危険な箇所は所有者に改修をお願いをするなど町の耐震改修や生垣設置の補助金等を活用するようお願いしていく。

再質問 船津の郵便局から船津3差路については大変重要な防災道路として必要だと認識しているが町の考えは。

都市整備課長 この道路は防災面での必要性を十分認識している。町単独では事業化は困難で、県と十分協議を重ねた上で都市計画道

路として事業化されるよう要望する。

関連質問 (渡辺洋) 都市計画道路、白木里宮線は計画かなり遅延しているが計画及び進捗状況を伺う。

都市整備課長 白木里宮線は現在舗装されている地点から北側へ550メートルほどを下水道工事とともに、平成25年度までに舗装工事以外を除き完成を見込んでいる。平成26年度には舗装工事を行い、終点まで200メートルは平成27年度を目途に完成をする計画である。

関連質問 (堀内昭登) 御坂山系に位置する地区の傾斜地崩落による地域の孤立化には湖を利用した物資の輸送が必要不可欠である。防災栈橋を設置する考えがあるか。

総務課長 大規模災害の際に地区が孤立化する恐れが想定される。御坂側の湖についても必要なことかと思う。今後栈橋のない地区の栈橋設置に関しても県と調整を図り進める。



清陽クラブ 代表質問者
井出 總一

3 冬の観光客の増客を図る対策は

質問 富士山の世界文化遺産登録を契機に観光施策はどのように進展させていくのか1月から河口湖の新イベントはどのように進めていくのか伺う。

町長 LEDの灯籠10000個を湖上に浮かべ幻想的な雰囲気醸し出し、花火と灯籠のコラボレーションを楽しんでいただく。1月19日から2月24日までの土曜日曜日、計12回実施する2013年河口湖冬花火は、打ち上



冬花火

げを湖上から陸地に変える。

再質問 湖畔トイレの整備改修の対策は。

観光課長 新築、改築等をして湖畔のトイレは整備されつつある。来年富士山世界文化遺産に登録されると、河口浅間神社、富士御室浅間神社について来訪者の動向数を検討していく。

4 日本人が忘れてしまっている礼儀や心を学ぶために

質問 中学生の武道必修化について、限られた時間内での程度の目的が達成できるか疑問と不安を感じるが、対応と指導を伺う。

教育長 柔道の基礎、基本的な技と知識を理解することを狙いに授業を実施しており、生徒たちも充実感を感じていると聞く。担当教師は夏休みを利用し県教育委員会主催の指導者研修会を受講している。柔道はけがが発生しやすいので安全面に十分注意して指導するよう指示している。

関連質問 (梶原義美) 学校での柔道の練習中に死亡する子どもの数は1983年より今日までに110人、年平均4人以上というデータがある。当町のハード、ソフト両面での安全対策を伺う。

教育長 安全面について施設設備を充実させる。体育教師が県の指導者講習などを受け、危険を予測し指導する技術を備え対応していく。

5 河口湖と西湖の2つの湖を周遊する富士山マラソン

質問 第1回富士山マラソンに対し町長はどのような感想を持たれたのか。

町長 河口湖、西湖、精進湖の宿泊施設はほぼ満杯となり、経済効果は計り知れない。非常に残念だが大変な交通渋滞を引き起こし、大会参加者や一般観光客、多くの町民にご迷惑をかけたと心を痛めている。警察等の関係機関とこの点を検証し、今後の大会運営に生かしていく。

再質問 新宿や立川、八王子発のマラソン列車を臨時的に増発したら。

町長 富士急線で富士山マラソン列車、参考にして取り組んでいきたい。

関連質問 (渡辺喜久男) コースの変更、参加人数の大幅な増員、これらの基本的な立案から実施された当日の行動について、企業の陰に埋没して経験豊富な町当局が蚊帳の外に置かれたのではないか。本大会は商業ベースで事が運ばれたのではないか。

観光課長 日刊スポーツ新聞社が主になって実施した。役割分担をしたが、町の意見が十分に反映されなかった部分は多々あると感じている。その部分を反省し今後の大会に臨んでいきたい。

代表・関連質問

知りたい！
聞きたい！



親樹会

代表・関連質問

1 災害時に生死を左右する4つの力

(生き抜く力、最善を尽くす力、想定外も想定とする力、他人を思いやる人間力)

質問 会派親樹会で地震の危機管理のスペシヤリストの小澤邦雄先生の研修を受け、4つの力の大切さの啓蒙と力を高めていく必要性を痛感した。災害時に生死を分けるこの力の重要性の現状認識と今後の取り組みは。

総務課長 阪神大震災や東日本大震災を教訓に、自助（生き抜く力、最善を尽くす力）共助（他人を思いやる力）に関心を持つよう啓蒙活動に力を入れていく。あわせて想定外のことを強く意識し、ふだんから準備の重要性についても提唱していく。

関連質問（渡辺元春） 地震、富士山噴火等に備えた町民の防災意識高揚のために講演会などが必要と思われるが。

総務課長 防災講演会の開催は進めていきたい。

2 電線の地中化を

質問 電線の地中化実現は、世界遺産にふさわしいまちづくりへの一歩であり、船津登山道入り口交差点上から町民体育館までの電線地中化を望むが。



船津登山道線 電線地中化予定地

都市整備課長 県との連携を密にし、25年度よりの事業化に向け協議を実施している。
関連質問（渡辺余緒治） 大橋通り、電線地



親樹会 代表質問者
古屋 一哉

中化工事の現状は。
都市整備課長 東恋路交差点までの電線の地中化を実施し、平成27年度を目途に完成する予定と聞いている。

3 自主防災リーダーの育成

質問 地域は地域で守る自主防災の必要性が震災の教訓からも強く言われ、自主防災組織の構築において地域ごとの防災リーダーを育成をしていくことが急務であると考えているが。

総務課長 地域に根差した防災リーダーとしては防災士がある。防災士の取得を推進するために、防災士資格取得促進助成金交付要綱の制定を行う。

再質問 防災士資格を取得されている3名も補助対象にならないか。

総務課長 取得された方にも遡及できるように検討している。今年度中に取得された方は要綱の助成の対象としていきたい。

関連質問（三浦康夫） 観光施設にも防災士

が必要と考えるが。

観光課長 観光協会、旅館組合と協議しながら進めていきたい。

関連質問（渡辺余緒治） 観光客への防災対策は

観光課長 観光連盟を主体として各観光協会組合により、安全・安心な観光地として観光防災に取り組んでいく予定である。



河口寺川 緊急避難通路整備計画地

農村災害対策整備事業の活用は

質問 どの地域が対象地域となり、どのような事業ができるのか。

町長 大石地区、河口地区及び富士ヶ嶺地区が該当となり、大石地区は、馬場川の管理用道路の整備、河口築は、寺川の管理用道路の整備、富士ヶ嶺築は、沈砂池、調整池等がこの事業の適用が可能と考えている。

関連質問（高山泰治） 馬場川、寺川は集落の真ん中を流れており、台風のたびに大変危険な思いをしている。事業対象になることは地域を挙げて喜ぶことである。地域振興協議会と協議する中早急な事業実施を期待するが。

政策財政課長 振興協議会で寺川、馬場川の議論はなされているので、さらに具体化できるように進めていきたい。

関連質問（渡辺元春） 富士ヶ嶺地区の事業実施も期待するが。

政策財政課長 雨水の調整池、沈砂池に加え、防火水槽の老朽化も課題であるので、具体化できるように進めていきたい。

健康のまちづくりへの施策

質問 健康に暮らせることは医療費の抑制につながる。医療費抑制の観点からも、町民の

健康づくりに対する施策の更なる発展を期待するが。

健康増進課長 第2期の計画を策定中であり、みんなで支える環境づくり、健康のまちづくりの推進を図り人材を活用した地域に根づいた健康のまちづくりを進める。

関連質問（三浦康夫） 健康診断の受診率アップに向けた取組は。

福祉推進課長 個別通知や電話等により受診率向上を図っていきたい。

富士山世界文化遺産登録に向けた観光施策は

質問 観光立町の町として今まで以上の観光の活性化策と、国内外からの観光客数の増加策は。

観光課長 世界遺産を観光資源として活用し、受け入れ環境の整備、効果的なプロモーションの実施、情報発信による、より一層の地域活性化に係る取り組みを行っていく。

再質問 観光情報発信としてフェイスブックの活用は。

観光課長 大変有効な手段だと考える。フェイスブックの活用も今現在進めている。

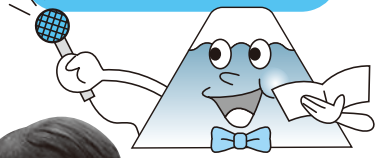
関連質問（梶原武） ごみや雑草のないきれいな観光地を目指す取組は。

環境課長 各種団体のご協力をいただき美化清掃には引き続き取り組んでいきたい。

代表・関連質問

知りたい!

聞きたい!



防災・減災関係の取り組みは

質問 今まで質問してきた防災・減災関係の取り組みの進捗を確認したい。

- 1、避難所開設訓練の実施
- 2、防災講演会の実施と減災リーダーの育成
- 3、自主防災組織の強化と防災マップの作成
- 4、福祉避難所の指定

総務課長

- 1、来年度、防災士等の意見を聞き進める。
- 2、自助、共助の身近な防災対策の講演会を開催したい。防災士取得助成金交付要綱制定し、防災士の数を増やしたい。
- 3、町全体ではまだまだの状況。だが一部自主防災会の活動が活発になっている地域がある。防災マップは、自治会長区長会議で再度作成をお願いする。
- 4、協定書の案を作成し、一部の施設には打診をしている。



一般質問者

佐藤 安子

婚活支援事業の継続を

質問 2度にわたり一般質問で婚活支援を取り上げた。町長も公約に掲げ11月3日婚活パーティーが実施された。今回の婚活パーティー実施の成果と今後の継続を問う。



婚活イベントで挨拶する町長

福祉用具購入費及び住宅改修費の受領委任払い制度の見直しを

質問

介護保険で福祉用具購入費及び住宅改

修費は、全額支払い後から戻ってくる償還払いと、自己負担分の1割を支払えば、残額は自治体から事業者を支払われる受領委任払いがある。当町は受領委任払い制度はあるが、厳しい条件があり利用されていなかった。現行の制度実施要綱を見直し町民が利用しやすい制度へ。

健康増進課長 他の市町村に先駆けて制度を開始している。高齢者の在宅生活の安定に寄与することを目的としていた本制度であるため、実施要綱の対象者を規定する厳しい条項を削除し、これまでより利用しやすい制度に改正する。

公共施設のLED照明導入を

質問 省エネ対策と電気料金値上げによる財政負担の軽減を図るため、公共施設へのLED照明の導入は、積極的に検討すべきだ。しかし照明器具が高価なため、リース方式によるLED照明導入を進める動きもある。調査し導入を検討していただきたい。

総務課長 庁舎が建設されて9年程度が経過し、照明設備のLED化について試算をしている。町有施設の現状を把握し、投資費用と節約費用、環境負荷効果などを総合的に判断し、切りかえが可能な施設から徐々に整備を進めたい。

1 重度心身障害者医療費の窓口無料の継続を

質問 知事が重度心身障害者医療費の窓口無料をやめ、窓口で負担し後から返還する方式に戻す、と表明した。理由は窓口無料を行うとペナルティが町に課せられるということだが、その解消こそ、何度でも国に求めていくべきだ。障害者の多くは所得がなく、負担ができないために、受診をひかえることにもなりかねない。多くの町民から懸念と批判の声があがっており、町長として、窓口無料の継続を県に求めるべきだ。

福祉推進課長 県はペナルティ撤廃を国に要望したが、全国の制度実施状況は一律でなく、撤廃は容易でないとのことだが、県に要望していく。

町長 ペナルティ撤廃、窓口無料の存続を県に要望していく。



一般質問者
山下 利夫

2 いじめ問題の実態把握を

質問 文科省の調査で2012年4～9月のいじめの認知件数が山梨県は2547件と発表された。当町でも、いじめがあると保護者などから聞くが、教育委員会はつかんでいるか。

教育長 教育委員会としては、町立小中学校でのいじめは確認していない。いじめの情報があれば、早急に対応する。

質問 いじめは大人のわからないところで行



大橋通り 乳ヶ崎南交差点付近

3 大橋通りの渋滞緩和を

われ、サインがあつたときには悪化していることが多い。いじめの前の段階からつかむ努力を学校現場ではされていると思うが、教育委員会として、実態をつかむ努力を。

教育長 各学校で、アンケートを行っているが、その項目を子どもが回答しやすい工夫をしている。学校の先生にも早めの対応をよびかけている。

質問 大橋通り（県道富士河口湖富士線）の渋滞が町民生活に支障をきたしている。平日の通勤時間帯、土日は慢性的に渋滞し、紅葉まつりのときに県の工事が行われ、渋滞を悪化させていた。渋滞緩和のために、次の2点について県等に要望を。①乳ヶ崎南交差点に右折信号の設置を。②県の工事はイベントなど渋滞が予想される時期を避け、下水道、歩道改修などの工事をまとめて行うなど効率化を。

都市整備課長 ①今年度、富士吉田警察署を訪れ、右折信号設置をお願いし、県とともに検討していく、との回答を得た。②町のイベントなどの情報を提供し、県との連携を密にし、工事の時期、内容など効率的に実施できるように要望していく。

○その他の質問
農業と食の安全を脅かすTPP参加に反対の表明を

一般質問

ぼかし作りで生ごみ減少 ポトリの会



ポトリの会 会長
宮下 正美 (小立)

ポトリの会のポトリとは、ハチドリが仲間と力を合わせ、山火事を消したお話から名付けました。当初グループは20人程「子どもたちに明るい未来をあげたい。」そんな思いから会は発足しました。

小佐野かほる前会長の地道なご努力の陰で、環境問題に取り組み始め5年が経ちました。今は100名以上の会員の皆様と共にぼかし作りを定着させることが出来ました。

富士河口湖町が生ごみにかけるお金は年間3億円。それを少しでも減らす事、それが今の私達の目標です。

ありがたい事に町の力強いご協力をいただき、ぼかし作りに必要な工房と機械を設置していただきました。

生ごみを減らす事により老後誰もが安心して介護が受けられ、そして子ども達が大人になった時、この町に生まれてよかった、住んでよかったと思えるような、そんな町づくりを目指してこれからも活動を続けてまいります。



視察研修

議会を傍聴しませんか

次の定例会は3月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。

議会見聞録

CATVでの議会放送をいつも見ています。富士河口湖町は、土砂災害などが心配される危険箇所が多いので、議員の皆さんには、自分の地域だけでなく、町内全体の状況をよく調査し、議会でとりあげてほしい。また、議会日程がもう少し早く町民にわかるようになると、傍聴者も増えるのではないかと思います。(浅川 外川)

編集後記

町民のみなさんにおかれましては、家族そろって穏やかなお正月を過ごされたことと思います。

さて、昨年は政権交代、選挙の年となり、民主党から自民党に3年ぶりに政権が代わりました。

今、私たちを取り巻く環境も大きな変革の時期を迎えています。議会だよりも多くの町民の方に読んでいただけるよう工夫を凝らし、議会ではどのように議論なされているのかわかりやすく、親しみをもたれる紙面づくりを目指し編集委員一同本年も取り組んでまいります。

(堀内昭登・記)



●議会広報常任委員会
委員長 渡辺 洋
副委員長 堀内 昭登
委員 渡辺 元春
佐藤 安子
小佐野 快
山下 利夫
古屋 一哉
小川 清治
駒谷 隆利